

令和6年産 特別栽培米「奥出雲千石米 コシヒカリ」栽培ごよみ(飯南)

月	4月					5月					6月					7月					8月					9月									
	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25	5	10	15	20	25					
生育段階・区分	育苗					田植え					有効分げつ					無効分げつ					幼穂形成					穂ばらみ					登熟				
水管理																																			
技術内容	<p>◎播種 早堆土健康・薄硬で め肥中康なまきける の施用酸苗づのはだ 起素をく励温け外 こ深を多行度管気 し耕多くを！理温 で稲含み！粗に注ら 乾土わら健全な活 土効果腐熟な着、 果熟な活、根域確保する</p> <p>◎田植え ・元肥は控えめに！ ・有機物多用田では減肥</p> <p>◎有効分げつ ・一植い体系処理による効果 ・株付けは適正に！ ・三三箱除草 ・四程本度</p> <p>◎無効分げつ ・中干しへ株二〇本以上になった頃</p> <p>◎幼穂形成 ・葉色・莖数をみて生育に応じた施用を！！</p> <p>◎穂ばらみ ・有機肥料の適量に注意！ ・出穂前二五日・幼穂長約五mm</p> <p>◎登熟 ・仕上げは万全に！ ・穂いもち防除・カメムシ防除</p> <p>◎出穂後 ・カメムシ防除 ・出穂後三〇日程度は間断かん水</p> <p>◎成熟期 ・稲わら腐熟促進</p>																																		

◆農薬使用基準(成分回数8回以内)

注)○内の数字は成分回数を表します。農薬使用基準を正しく守りましょう。

種子消毒	<p>●種籾は無消毒種子を用いて温湯種子消毒を行う。 ただし、以下の方法も選択可能とする。 ○温湯消毒済み種子への浸漬前・浸漬時にタフブロック処理を行うこと。 ○温湯消毒済み種子へのタフブロック湿粉衣した種子を使用すること。 ※タフブロックは農薬成分回数はありません。 タフブロックをご使用の際はJAへご相談ください。</p>		
育苗箱施薬	<p>稲名人箱粒剤②</p>		
除草剤	体系	初中期	ビクトリーZジャンボ②又は、ビクトリーZ1キロ粒剤②又は、ビクトリーZ400FG②
		中後期	アトリー1キロ粒剤①又は、アトリー豆つぶ①
本田防除	<p>【出穂前】 ＜いもち病・紋枯病・カメムシ類＞ アミスタートレボンSE② トレボン粉剤DL① } どちらか1回を選択</p>		
	<p>【出穂後】 ＜カメムシ・ウンカ類＞ スタークル液剤10① 又は スタークル粉剤DL①</p>		

◆土づくり資材(土壌改良剤) 下記資材は、生産者の判断で使用しても良い。

●腐熟促進剤	アグリ革命アクア・豊土サングリーン・ワラクサール
●含鉄資材(10アール当り施肥量)	田んぼの守 60kg 純鉄ARG=2000 60kg・ミネラルG(粉) 200kg・ ケイテツ 80kg
●リン酸質肥料	リンスター30(BMリンスター30)・苦土重焼燐・ファイトアップ
FTE(マンガン・ホウ素等)・ミネラス・アグリエース	
●漏水田対策(荒起し時)	農業用ベントナイト(0.7t~1t/10アール)を施用する。

◆施肥設計(10アール当り) ◎化学肥料由来の窒素量(2.75kg/10a)厳守

肥料名	元肥	追肥	成分量(kg)			
			窒素	リン酸	加里	苦土
生わら	全量					
堆肥	※注1 1000					
リンスター30	10		3.9 (1.95)	1.5	1.5	0.8
珪酸加里 プレミア34		20		4.0	0.8	
すご稲有機 355 ※注2	30		3.9 (1.95)	1.5	1.5	0.8
合計			3.9 (1.95)	4.5	5.5	1.6

※注1・堆肥は10アール当り0.5t~1tとするが、堆肥の施用量については、土づくりの集積状況や土壌診断に基づいて決定する。

※注2・すご稲有機355は、基準量の±30%の範囲内で、圃場条件により増減が可能です。ただし最高40kg/10aまで。

一発肥料体系では穂肥の必要がありません。但し、

肥料名(いづれか)	肥効(穂肥(上限))	成分量(kg)		
		窒素	リン酸	加里
みんなゆ〜き	緩効	10	0.7(0)	0.2
優作	普	10	1.0(0.49)	1.0
島コシ化成1号	速効	5	0.5(0.5)	0.75

生育状況で右記の肥料のいずれかを施肥しても良いこととします。ただし、すご稲有機355を30kg以上施肥された方は、穂肥をする前にJAIにご相談ください。

肥料名	元肥	追肥	成分量(kg)			
			窒素	リン酸	加里	苦土
生わら	全量					
堆肥	注1 1000					
リンスター30	10		3.9 (1.95)	1.5	1.5	0.8
フレーバーペースト734 ※注3	35		2.45 (1.23)	1.1	1.4	0.8
珪酸加里 プレミア34		20		4.0	0.8	
みんなゆ〜き ※注4		20	1.4 (0)	0.8	0.8	
合計			3.85 (1.23)	4.9	6.2	1.6

※注3・フレーバーペースト734は、基準量の±30%の範囲内で、圃場条件により増減が可能です。但し、最高40kg/10aまで。

※注4・ペースト肥料体系で穂肥の場合には、生育状況に応じて【みんなゆ〜き】に替えて下記肥料のいずれかを、上限まで施肥可能です。

肥料名(いづれか1つ)	穂肥(上限)	成分量(kg)		
		窒素	リン酸	加里
優作	20	2.0 (0.98)	2.0	2.0
島コシ化成1号	10	1.0 (1.0)	2	1.5

()内は、化学肥料由来の窒素量

※粒状肥料体系(全層施肥)については、【令和6年産 特別栽培米「奥出雲千石米 コシヒカリ」栽培ごよみ(飯南)】の施肥設計を掲載していませんが、引き続き粒状肥料体系でも栽培可能です。その場合は、飯南営農経済センターへご連絡ください。

粒状肥料体系

()内は、化学肥料由来の窒素量

肥料名	元肥	追肥	穂肥	成分量(kg)			
				窒素	リン酸	加里	苦土
生わら	全量						
堆肥	(※)1000						
リンスター30	10				3.0		0.8
こめ太郎 くん	30			1.8(1.8)	4.5	2.4	0.6
珪酸加里 プレミア34		10				2.0	0.4
みんな ゆ〜き			20	1.4(0)	0.8	0.8	
合 計				3.2(1.8)	8.3	5.2	1.8

※注・堆肥は10アール当たり0.5t～1tとするが、堆肥の施用量については、土づくりの集積状況や土壌診断に基づいて決定する。